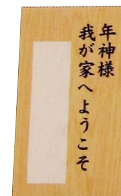


門松ペーパークラフト

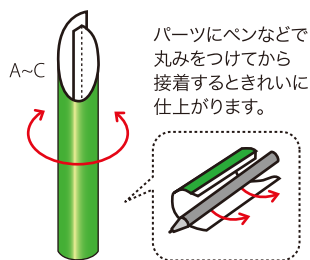
門松は、新年に年神様が降りてくるときの目印です。杉なども使われていましたが、平安時代に常緑の松は神が宿る木と考えられ、松が使われるようになりました。後に、まっすぐに節を伸ばす竹が、長寿を招く縁起ものとして添えられました。

門松を29日に立てるのを「苦立て」、31日に立てるのを「一夜飾り」といって敬遠されます。28日頃に立てるのがよいでしょう。

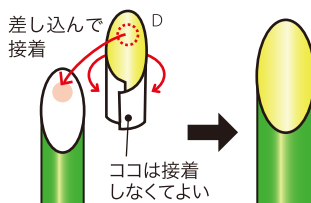


〈門松の作り方〉

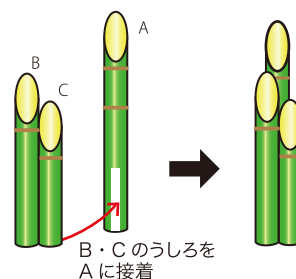
① A～C を筒状にして接着する。



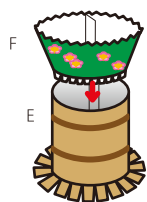
② D に丸みをつけてから A～C それぞれに差し込み 先端を接着する。



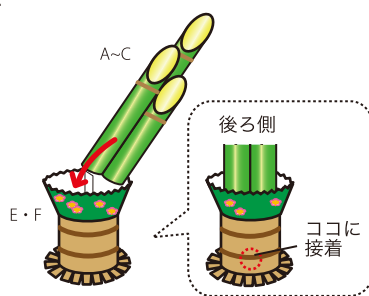
③ B・C を接着し、それを A に接着して A～C を固定する。



④ E・F を丸め接着後 E に F を差し込んで接着する。E の下部分は外側に折り曲げる。(接着部分が後ろ)



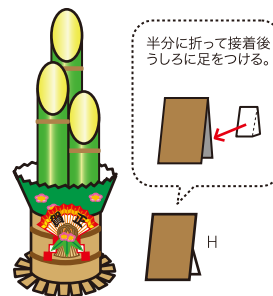
④ E・F に A～C を差し込んで 後ろを接着する。



⑤ G を前面に接着する。



⑥ H の立て札を作り、横に置いて完成。



ご注意

はさみやのりは幼児の手の届かないところで作業してください。はさみ等を使用する時は指などを切らないように注意してください。切り抜いたパーツに尖った部分がございますので怪我をしないようにご注意ください。

〈門松パーツ〉

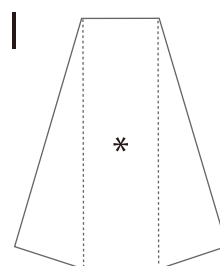


H



余白にはお子様のお名前を
入れてください。

I

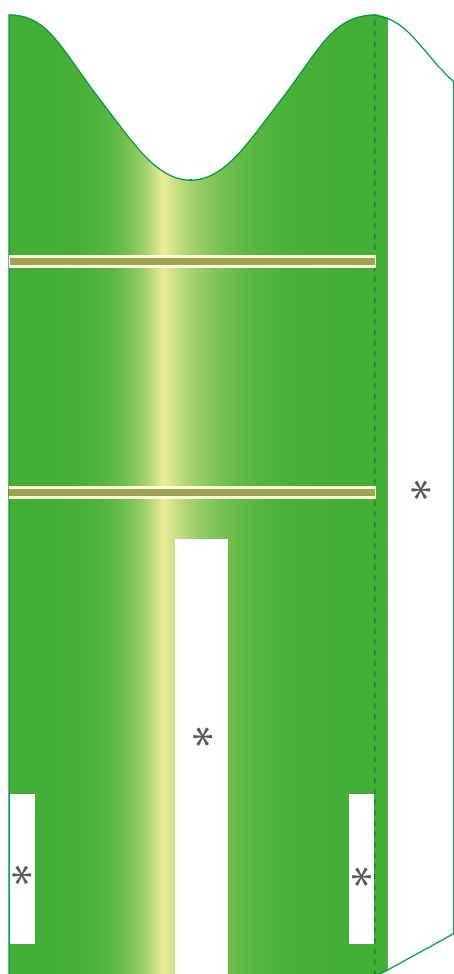




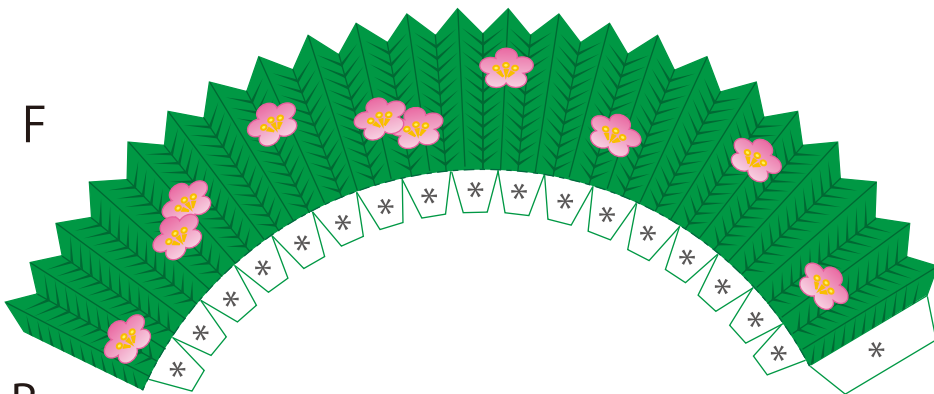
*	のりしろ
—	切り取り線
- - - - -	山折り線
- - - - -	谷折り線
— (blue)	切り込み線

〈門松パーツ〉

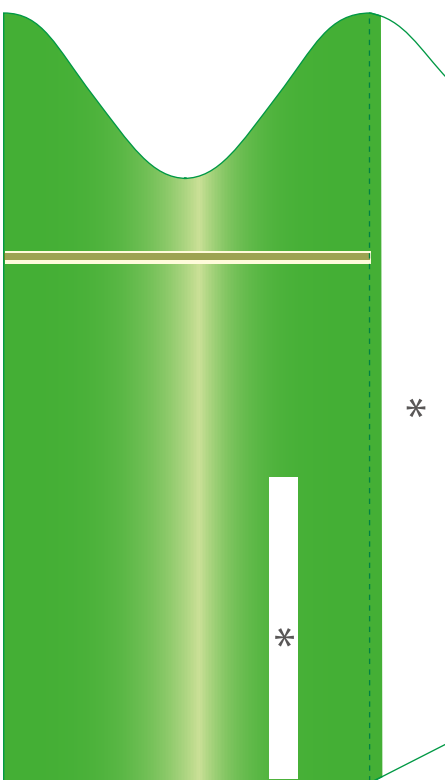
A



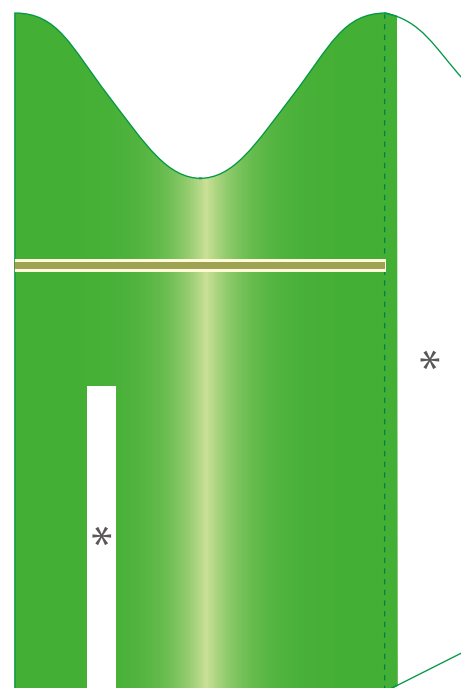
F



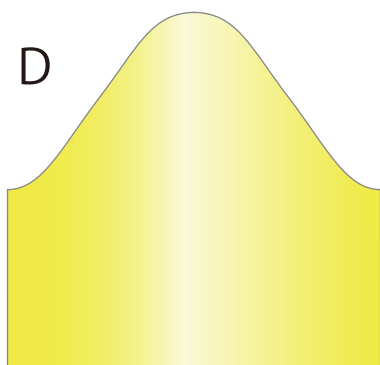
B



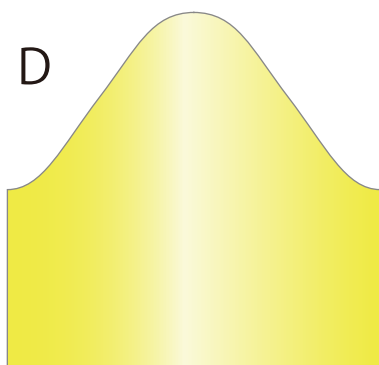
C



D



D



D

